

“尼崎市民まつり”に参加し河川環境と防災のPRをしました ～簡易水質調査の体験と環境・防災パネルで猪名川を学ぼう！～

～猪名川河川事務所～

尼崎市民まつりの来場者5万人を超える賑やかなまつりです。この大きなまつりの実行委員のほとんどは市民で、市民の考えが大きく反映される特徴があるまつりです。

阪神尼崎駅周辺が会場となり、特に中心になっているのが、『市民活動の広場』『こどもひろば』『防災・歴史交流広場』です。この『防災・歴史交流広場』は、東日本大震災の際の支援と交流(かつて阪神淡路大震災で尼崎市は大きな被害を受けた)を目的として始まったものですが、年数も経過したのと、地域防災にも目を向けていかなければならない、との実行委員会の考えから、**当事務所が猪名川・藻川の防災の広報をさせていただくことになりました。**

加えて、猪名川・藻川は危ない一面もあるが、**今では環境も改善して、魅力的な川になっていることも広報してほしい、**とのご意見をいただいたので、**水環境の広報も併せてすることになりました。**

開催概要

- 日 時 : 平成30年10月8日(祝) 10時00分～19時00分
- 場 所 : 兵庫県尼崎市 阪神電鉄尼崎駅周辺
- 参加人数 : 一般来場者 5万人
- 内 容 : 音楽(プロ・アマ)、大道芸(プロ)のステージ、展示、体験・実験ブース、見学体験ツアー、ゆるキャラ集合、縁日など多数
- 主 催 : 尼崎市民まつり協議会及び実行委員会



イベントの様子

市民まつり実行委員会の配慮で、パネル展示だけで3ブース(テント3つ分)と、これとは別に、簡易水質調査(パックテスト)の体験コーナーで水質の説明も行いました。パネル展示テントの真ん中に昔に作った着ぐるみ『いながわ博士』に骨組みを入れてぬいぐるみにしたものを展示して、通行者に立ち止まってもらう作戦で、パネル展示を行いました。

パネル展示は、真ん中のテントが、猪名川の野鳥の写真の展示、両側が、『猪名川の水質のパネル』と、『猪名川の防災のパネル』を配置しました。特に子連れの通行者はよく立ち止まって見てくれました。簡易水質調査は100人程度、パネル展示は150人以上の方が見学・体験をされました。



防災ブース

防災ブースでは、昭和40年代のしょう水路工事で安全度が増したこと、かつての水害の話などを中心にパネルを展示しました。担当者はTEC-FORCEの服とヘルメットを着用して、見学者への説明に励みました。この工事のおかげで今の猪名川があることを熱心に聞かれています。



防災ブースの全景

簡易水質調査体験

猪名川の水、神崎川の水、大阪湾の水、水道水、ジュース・醤油・シャンプーで少し汚した水道水について、CODやpHについて、簡易水質調査(パックテスト)を行いました。小学生の子供達はこの実験が楽しかったようです。年配の方には、猪名川の水がきれいなことを知らなかった方もいて、おどろかれています。



水質調査をする子供たち

環境ブース

猪名川の水質がどのように改善してきたか、今の水質はどうか、きれいな水質を守るためにはどうすればいいのか、外来生物の問題、等について説明したパネルを熱心に見られていました。また、猪名川の野鳥の写真も約100枚展示しました。撮影者(流域住民の方)もかけつけて、説明してくれました。



水環境パネルを閲覧する来場者

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 工務課
〒563-0027 大阪府池田市上池田2-2-39 TEL 072-751-1111 (代)

